学校番号	T3017

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）教養数学	単位数	２単位	年次	３年次（３年制）
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ⅰでは学習しなかった内容を扱います。前期は『等差数列・等比数列』，後期は『ベクトル』の内容を，プリント等を用いて学習します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数列，ベクトルにおける基本的な概念，定理などを理解し，事象を数学的に表現・処理する技能が身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
数列，ベクトルの性質を見出し，それを論理的に説明する力，事象に数学的な構造を見出す力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を今後の生活や学習に活かそうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，ベクトルにおける基本的な概念，定理などを理解し，事象を数学的に表現・処理する技能が身についている。	数列，ベクトルの性質を見出し，それを論理的に説明する力，事象に数学的な構造を見出す力が身についている。	数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を今後の生活や学習に活かそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数列	数列とその和	a: 簡単な数列の基本的な概念を理解し，一般項やその和を求めることができる。 b: 数列の性質に着目し定理を見出したり，論理的に説明したりすることができる。 c: 数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感し，数列を今後の生活や学習に活かそうとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
後期	ベクトル	平面上のベクトル	a: ベクトルの基本的な概念を理解し，適切に計算することができる。 b: 定義や関係性をもとに，定理や性質を考察し，説明することができる。 c: ベクトルの演算や性質を論理的に粘り強く考え，ベクトルのよさを実感している。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度